

2018年東京都企業秋季企業大会決勝戦

NTT 東日本に敗れ・準優勝

6回まで好試合//7回裏守備乱れ・8回投手撃たれる

東京都 NO1 チーム NTT 東日本を相手に先発上田投手 6 回まで散發 1 点に抑え好投するも 7 回守備乱れ 4 失点で降板。8 回からベテラン古田投手登板、先頭打者センター前・次打者にレフト線へタイムリー二塁打 1 失点で降板、3 番手に北浜投手、無死 2 塁から投手前バンドをエラー無死 3・1 塁、四球で無死満塁後連打され(4 失点)この回 5 失点で 9 対 2 となり 8 回コールド負けに終わる。

打撃陣は 4 回 2 死 2・1 塁から 8 番吉田選手のレフト前タイムリーで先取点。5 回 2 死 2 塁から 4 番大野選手の前タイムリーで 2 点目を獲得。7 回先頭吉田選手のライト線二塁打、犠打で 1 死三塁も後続が倒れチャンスを潰す。チャンスの後にピンチを凶で書いた通り 2 つの野手のミスで逆転を許し 2 死 2・1 塁で三塁線横のゴロを捕球態勢からボールから目をそらしレフト前タイムリー同点打、投手上田選手精魂尽き果て以後四球を挟んで 2 死満塁からレフトと内野の間のフライを捕球できず者一掃の 3 点二塁打とするこの回 4 点献上万事休す。この試合は 7 回の野手の集中力の崩れから敗退を招いた。この回は都市対抗東京都二次予選で敗退した時に類似。

明治安田の弱い一面が出た瞬間//弛まず常に集中力を堅持し一つのプレーを大切にしてほしい。(明治安田の守備力は東京チームの中で 1・2 を争うと私は確信している。)誠に残念な試合だった。この借りを 16 日の関東選抜決勝トーナメント東京ガス戦で憂さを晴らしてください。社会人野球日本選手権大会に向けて関東選抜決勝トーナメントを勝ち抜けてください。

試合のスコアは藪マネジャー発信の試合経過を参照(ホームページ参照)

なお、本大会の明治安田の個人表彰受賞

敢闘賞

上田浩平投手

首位打者賞

吉田大成選手

9 打数 5 安打 打率 5 割 5 分 6 厘

2018 年 10 月 11 日

土田唯雄



先発 敢闘賞受賞 上田投手



4 回先取点タイムリー吉田選手



5 回タイムリー大野選手

首位打者受賞



準優勝カップを抱える井村主将